平成24年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立串本古座高等学校古座校舎

校長：森本 清仁

目指す学校像	・生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばし、地域の教育、文化の拠点としての役割を果たすことができる信頼される学校。
育てたい生徒像	・自立した市民として豊かな個性と高い志を持ち、社会の担い手として活躍できる生徒。

本年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	1 生徒の学力伸長をめざし指導方法の改善に取り組むとともに個別指導の充実を図る。
	2 生徒指導、進路指導を充実させ、系統的、計画的にキャリア教育を推進する。
	3 部活動、学校行事、体験学習、ボランティア活動等を通し自主活動の活性化を図る。
	4 防災教育の取組等を通して、地域との連携を強化することにより開かれた学校づくりを推進する。

達成度	A	十分に達成した (80%以上)
	B	概ね達成した (60%以上)
	C	あまり十分でない (40%以上)
	D	不十分である (40%未満)

学校評価の結果と改善方策の公表の方法
学校のHPに掲載し、公表する。

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。
 4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自己評価

重点目標				年度評価 (3月8日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	生徒は学力差が大きく、進路希望も多様である。を通じてさらなる授業力向上に努め、生徒一人ひとりの目標や課題に応じた効果的な指導を組織的、系統的に展開することで、基礎学力の定着、主体的に学習に取り組む態度の育成等を図る必要がある。	<p>教育活動全般について、生徒一人ひとりに応じた適力が身についているか。</p> <p>指導法の改善に向けた研修等が行われ、成果として現れているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基礎力診断テストの実施と分析検討会の開催。 各教科宿題コーナーの活用による家庭学習課題の実施 担任教科連絡会議の開催。 授業前教室内学習環境の整備、及び始業チャイム時着席の指導。 研究授業、及び校内研修の実施。 特別支援の観点を取り入れた授業についての研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の実施、及び評価指数アップ生徒8割以上。 家庭学習1時間以上の生徒8割以上。 学期に2回開催 チャイム着席定着率8割以上 全教員1回以上の研究授業、及び授業研究会の開催。 	<p>検討会は開催できた。評価指数のアップも大幅に増加し達成できた。</p> <p>調査の時期や生徒によって差があり、8割以上とはいかなかった。</p> <p>開催できた。</p> <p>選択授業等教室移動を伴う授業では十分とはいえなかった。</p> <p>ESD及び特別支援の観点を取り入れた研究授業を実施した。</p>	B
2	生活面では、一部に生活規律に課題のある生徒がおり、引き続き組織的な取組が必要である。進路については、徹底した個別指導で国公立大学への進学を果たすなど一定の成果をあげているが、就職面では経済状況の悪化等の影響もあり、希望者全員就職には至っていない。ハローワーク等関係機関との連携による求人開拓等に取り組むとともに、キャリア教育の観点からの指導を重視し、早い時期から、目的意識を明確に持って進路実現のために前向きに努力できる生徒の育成に努めていく必要がある。	<p>家庭・地域・関係機関等との連携のもと、組織的、計画的な指導が行われているか。</p> <p>すべての教育活動の中でキャリア教育の観点を意識しつつ、進路実現に向けた具体的な指導や取組が行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ指導のための定期的な全校集会開催。 SHR、授業前指導、及び指導票を活用した指導。 当番制による登校時、昼休憩時の校門指導の実施。 個人面談、保護者面談、家庭訪問等の実施。 地元警察署、保健所、関係機関等と連携した講演会等の開催。 進路ガイダンス、講演会等の開催。 面接指導、個別の進路補習等の実施。 各種検定の実施。 インターンシップの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期に2回実施。 特別指導件数対前年度比2割減 遅刻総数対前年度比2割減 全生徒1回以上の保護者面談の実施。 交通安全、薬物、情報モラル関係学習会等を各1回開催。 各学年1回以上開催 試験前面接指導一人5回以上。 就職、進学希望生全員合格。 検定受検者数対前年度比2割増 2年全員2日の実施。 	<p>実施できた。</p> <p>件数としては減少した。</p> <p>2割減を達成することはできた。</p> <p>面談週間等を中心に実施した。</p> <p>開催できた。</p> <p>ガイダンス学年各1回、進路講演1年3回、2年2回、3年2回開催。</p> <p>面談等は5回以上実施した。2名が卒業までに合格内定を得られなかった。</p> <p>積極的な働きかけで達成できた。英検5人→10人 漢検35人→41人</p> <p>夏季休業中に2年生で実施した。</p>	B
3	小規模校であるが、行事等は活発に行われている。クラブの選択肢が少ない等の課題はあるが、校舎間の交流を進める中で、活性化を図る必要がある。総合的な学習の時間等を中心に、ESDの観点から様々な学習・体験活動等に取り組むことで、生徒の体系的な思考力、情報収集・分析能力、コミュニケーション能力等の育成に努めたい。	<p>生徒の自主的、自立的な活動ができているか。クラブ活動は活発に行われているか。</p> <p>ESDの観点を生かした学習、体験活動等が行われ、成果を共有するための発表、表現の場が設定されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会によるペットボトルキャップ、ブルタブ回収運動を実施。 部員増加のための校舎間クラブ交流等の実施。 ESDの観点を生かした研究授業の実施。 ESDの観点をから取り組む環境教育、国際理解教育、人権教育、ボランティア活動等に係る学習、フィールドワークの実施、及び学習内容、成果についての発表会等の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ワクチン、車いすの寄贈 クラブ活動意識調査による積極的参加者対前年度比2割増 各教科で1回実施 各分野1回以上開催 	<p>ブルタブ等相当量回収できたが、車いす購入にまでは至っていない。</p> <p>積極的にクラブ交流を行っているクラブもあるが、2割増までには至っていない。</p> <p>実施できた。</p> <p>1年生のフィールドワーク等を中心に様々な形態で取り組むことができた。発表会の開催や、コンテストへの参加等も行った。</p>	B
4	東南海・南海地震等の発生が懸念される中、地震や津波に対する備えが喫緊の課題である。防災を軸に地域の小中学校や団体等と連携・協力しながら避難訓練等様々な取組を推進し、生徒の安全確保に努める。	<p>生徒の安全確保のための具体的な取組が行われているか。</p> <p>校内の安全管理体制の充実、強化が図られているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の実施。及び地域と連携した防災避難訓練の実施。 定期的な校内安全点検の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期に1回の実施 合同訓練1回以上実施 毎月15日を安全点検の日として毎月実施。 	<p>予定どおり実施できた。</p> <p>後半実施できなかった。</p>	B

学校関係者評価

平成24年3月15日 実施

学校関係者からの意見・要望・評価等
<p><学校関係者評価></p> <p>A：そう思う。どちらかというと思う。 B：そう思わない。どちらかというと思わない。</p> <p>①本校の教育方針や教育指導目標の重点が分かりやすく示されていると思いますか。 A：62% B：38%</p> <p>②本校は保護者や地域の方々との情報交換や意見を取り入れ活かす機会を設けていると思いますか。 A：60% B：40%</p> <p>③本校では、多様な生徒に対応するために、進路に関する情報提供が十分に行われていると思いますか。 A：76% B：24%</p> <p>④本校には、他の学校にない特色があると思いますか。 A：78% B：22%</p> <p>⑤本校は地域等の活動に対して協力的であると思いますか。 A：76% B：24%</p> <p>⑥本校では、生徒の状況に応じ、充実した授業が行われていると思いますか。 A：74% B：26%</p> <p>⑦本校では、基本的な生活習慣や規範意識を身に付けるため適切な指導が行われていると思いますか。 A：80% B：20%</p> <p>⑧本校の学校行事等は活発に行われていると思いますか。 A：88% B：12%</p> <p>⑨本校では、生徒会活動や部活動に熱心に取り組んでいると思いますか。 A：88 B：12%</p> <p>⑩本校では、生徒の健康や安全に関する指導が適切に行われていると思いますか。 A：80% B：20%</p> <p>⑪本校では、校舎、校庭、教室の環境美化や整備ができていますか。 A：79% B：21%</p> <p>⑫本校の生徒は、明るく生き生きと学校生活を送っていると思いますか。 A：88% B：12%</p> <p><その他の意見等></p> <p>学校関係者(P.T.A役員 学校評議員)の本校に対する評価は上記のとおり概ね好評である。個別の意見としては、きめ細かい指導を評価する声と、身だしなみ等生活面の指導の一層の強化を求める声があった。また、25年度古座校舎のクラス減にかかわって、学校存続のため地域の学校としての特色ある学校づくりを追求してほしいという声が複数ある一方で、今後さらに生徒数が少なくなることを考えると統合をする方がいいのではないかという意見もあった。</p>